

みんなのしあわせが
私のしあわせに

Annual Activity Report / 2020.4 - 2021.3

2020年度年次報告書



認定NPO法人
地球市民の会

2020 年度の振り返りおよびお礼

2020 年度も新型コロナウイルス感染症が拡大し、大きく事業に影響を与えた 1 年となりました。また、コロナに留まらず、2021 年 2 月のミャンマーでの非常事態宣言、国内で気候危機による災害が多発し、社会への負の影響は、地理的特徴や産業の構造、また、ジェンダー、外国人、貧困など、脆弱な立場におかれた人々への問題が顕在化されました。2020 年度は、より強く「人権」について考えさせられることとなりました。

事業としては、コロナや様々な外的要因があり、これまで当たり前に行っていたことができない状態になり、事業がストップする部分もありましたが、逆に国内事業の国際交流やミャンマーの事業でもオンラインを活用し、交流や新たなファンづくりなど実施するができ、大きな転換期の中で対応を求められた年でした。

「誰一人取り残すことなく、貧困や不平等のない持続可能な社会へ世界を変革する」

これは、2015 年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs) の根底にある理念です。コロナはじめ様々な課題が山積する中で、SDGs の旗印のもと、持続可能な社会への変革に向け、経済・社会・環境の相互関係の下で、すべての人による行動変容が一層求められています。

当会としては引き続き「誰一人取り残されない」社会の実現を目指し、不確実な時代の今こそ単体での課題解決でなく、様々な方々とパートナーシップを組み、SDGs を推進していきます。

2021 年度も引き続き、ご支援の程、宜しくお願い致します。

「日常」と「非日常」



会長 小原 嘉文

わずか 1 年数カ月前までは何でもない「日常」のことがコロナ禍のために全て「非日常」になってしまいました。

あらゆることが一変しましたが、本来私たちが目指す国際交流、国際貢献、国際協力、まちづくり、人づくりも例外ではなく、これからコロナ以前の状態に戻ることはなく、コロナと共生する中で新しい思考と行動が必要になります。

コロナに対応して、どんなに IT 化やリモート化が進んでもビジネスの世界とは違って、私たちが取り組んでいるのは、人間同士の心のふれあいや思いやり等が根本にあって行うことです。ワクチンの接種などにより、事態は日々好転するとは思いますが、コロナ禍の「非日常」が今後は「日常」となってしまうのは避けられません。

私は、地球市民の会で大きな決断を迫られた時には、創設者・古賀武夫（故人）ならどうするだろうかと考えます。

古賀武夫ならば「コロナは気合で吹き飛ばす」と強気の言葉を吐きながら、一方では綿密な行動計画を作りコロナの時代に柔軟に対応し、実行することでしょう。

コロナ禍の「非日常」の「日常」化の中で、これからの地球市民の会の事業、活動がどうあるべきか皆さんと共に考え、作り上げ、行動しなければならない貴重な時期が今だと思います。

ますます“ グローカル (Glocal) ”な地球へ向かう起点に立って



理事長 山口 久臣

SDGs（持続可能な開発目標）は、2030 年までの特に人類に問われる重要な 10 年間であると位置付けられております。それは、毎年約 7 ～ 8000 万人ずつ増え続ける地球の人口（現在、約 77 億人。1901 年に約 16 億 5000 万人だった世界の人口はこの 120 年間で約 60 億人増加した）によって、地球温暖化の主要原因とされる CO₂ の増加とエネルギー消費量の増大。更には、このまま人類が手を尽さなければ 2030 年には地球の海は“マイクロプラスチックの海”になってしまうと言われるプラスチック問題。これらの地球の状況は、まさに Global（地球的）な問題・課題が、そのまま我々の Local（地域的）な活動や行動に直結していると云えます。これらのことが、“Global + Local = Glocal（グローカル）”と云うことなのです。

“Think Globally and Act Locally & Think Locally and Act Globally”＝地球的に考えて地域的に行動しかつ、地域的に考えて地球的に行動する！！ことなのです。

皆様、共に地球のために私たちに出来ることを地域で実践して行きましょう。

本部事務局



岩永清邦
(事務局長)



藤瀬仲恵
(事務局次長)



山路健造
(国内事業担当)



櫻井彩乃
(インターン)



諫山由紀子
(ミャンマー事業担当)



江口恵美
(会計担当)



武富有香
(奨学金 / 国内事業担当)

名古屋デスク



柴田京子
(ミャンマー国代表、
プロジェクトマネージャー)

タウンジョー事務所



鈴木亜香里
(プロジェクトアシスタント)



クン・トゥン・ウィン



サイ・トゥン・エー



クン・ゾー・ゾウ・マウン



マ・モー・モー・トゥエ

タンポジセンター



マ・ワー・ワー・ライン
(センター長)



ウ・ウィン・シュエ



ドー・キン・サン・ウー

ナウンカセンター



クン・ソー・アウン
(センター長)



クン・シュエ・トー



クン・ティー・レー

フィードバックセンター



ウ・ミョー・ミン



クン・ティッ・サン



クン・マウン・ヨー

ミランダ事務所



神崎涼子
(プロジェクトアシスタント)



コ・マンリン



ベンジャミン



ティリパイン



ヘイン・ラッ・テツ

ライレンピーセンター



ウ・ザバットン
(センター長)



ウ・ゾー・リン



マ・グンティ



トゥライ・ゼ



ウ・ピエラ



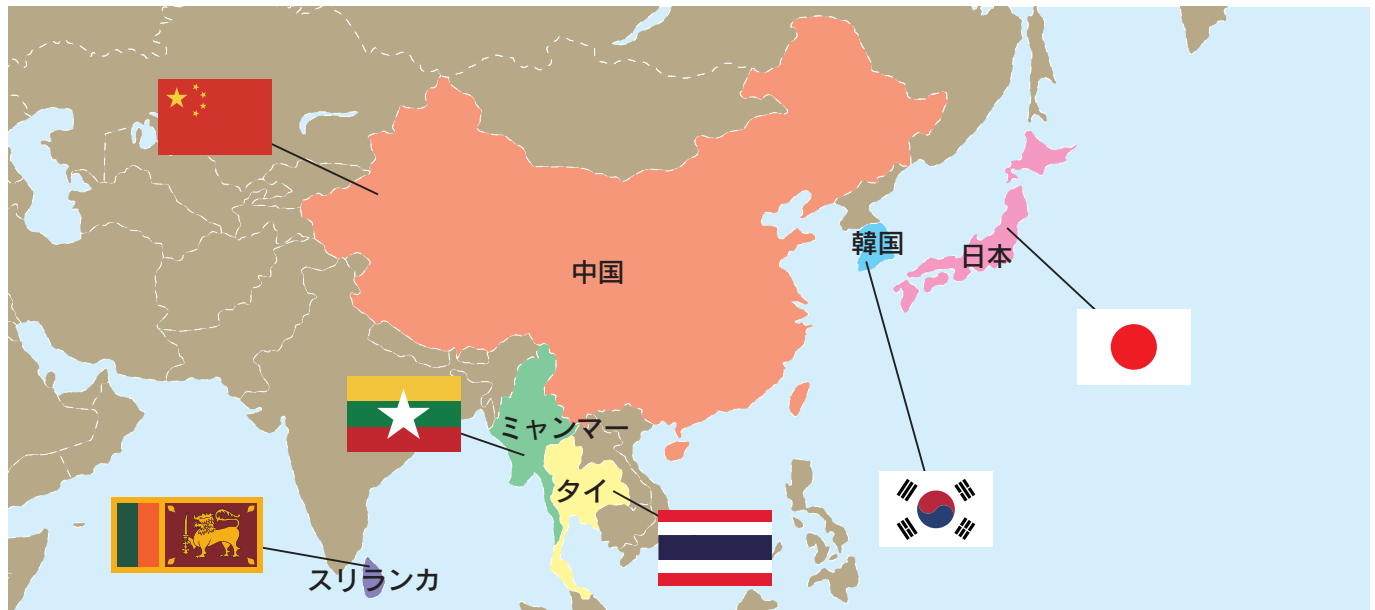
ソータン

目次

- [P.02] 2020 年度の振り返りおよびお礼
- [P.04] 2020 年度 事業概要
- [P.05] 国内事業
- [P.08] 海外事業
- [P.09] 奨学金事業
- [P.10] ミャンマー事業
- [P.15] 支援を受けたみなさんからの声

- [P.15] 支援者さん、ボランティアさんの声
- [P.16] 協力者一覧
- [P.17] 2020 年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告
- [P.18] 2021 年度 事業計画
- [P.19] 2021 年度 当初予算書 (案)
- [P.20] 私たちについて
- [P.21] いろいろなご支援を紹介

2020 年度 事業概要



	事業内容	実施日時	実施場所	従事者(人)	受益対象者の範囲、人数	支出額 (千円)
国内事業	SDGs 推進事業（講師派遣、国際交流等）	通年	佐賀市内	1 人	SDGs Academy SAGA 参加者 32 人	406
	子どもの居場所づくり事業	通年	佐賀市内	1 人	参加者 345 人 ボランティア 81 人	8
	ふるさと納税（イベント、返礼品含む）	通年	佐賀県内	1 人	寄付者 393 人 返礼品提供業者 28 社	10,810
	その他（研修、イベント等）	通年	佐賀県内	2 人		31
	志学生プロジェクト	通年	佐賀県内、タイ王国	1 人	学生 1 人	12
	その他（ネットワーク設立支援事業）	通年	佐賀市、鳥栖市、鹿島市	1 人	タイ関係者 20 人 イベント参加者 30 人	382
	小 計					11,649
奨学金事業	奨学金支給	通年	スリランカ：サンガミッタ女子校 ミャンマー：タンポジセンター、パラヒタ	7 人	スリランカ高校生 40 名 ミャンマー高校生 74 名	383
	小 計					383
ミャンマー事業	シャン州・チン州の山岳少数民族地域における循環型農業普及と農業環境整備による生活改善事業（ナウンカ農業団/マインピン農業団）【外務省 NGO 連携無償資金】	～1月	シャン州ホッポン郡マインピン地域	5 人	対象地域の住民 550 世帯、約 2,750 人	22,524
	シャン州・チン州の山岳少数民族地域における循環型農業普及と農業環境整備による生活改善事業（ライレンピー給水）【外務省 NGO 連携無償資金】	～1月	チン州マトゥピー郡ライレンピー町	15 人	対象地域の住民 433 世帯、約 3,000 人	
	チン州の山岳少数民族地域における水環境整備事業【外務省 NGO 連携無償資金】	～1月	チン州ミンダ県ミンダ町	9 人	対象地域の住民約 12,000 名	
	インレー地域における水環境保全事業【緑の募金】	～6月	シャン州ニヤウンシュエ郡ヌワダマ村	7 人	対象地域の住民約 700 人	494
	マインピン地域における水源涵養・アグロフォレストリー推進と緑化啓発事業【緑の募金】	7月～	シャン州ホッポン郡マインピン地域	4 人	対象地域の住民 250 世帯、約 1,250 人	564
	シャン州インレー湖周辺地域における水質浄化啓発活動ー「みんなで湖を守る」を形にするためにー【リソナアジア・オセアニア財団】	通年	シャン州インレー湖周辺地域	4 人	対象地域の住民 344 世帯、約 1,800 人	1,000
	ホディアアイ堆肥作製を通じた持続可能な環境保全体制の確立【日本国際協力財団】	通年	シャン州ニヤウンシュエ郡ヌワダマ村	4 人	対象地域の住民約 700 名	182
	人と自然が育むゆたかな森づくり【イオン環境財団】	通年	チン州マトゥピー郡ライレンピー町	12 人	対象地域の小～高校生 500 人	580
	マジヤン準中学校建設事業【個人寄付】	6～9月	チン州ミンダ群レーカウン村落区マジヤン村	9 人	学校に通う生徒 94 人と教員 7 人	2,016
	ナウンサン小学校トイレ建設事業【久居ライオンズクラブ】	2019年 1月～3月	シャン州タウンジー県ホッポン郡 ナンコック村落都ナウンサン村	4 人	児童 24 名、教師 2 名	273
	カーエイン準中学校教育支援事業【個人寄付】	2019年 11月～	チン州カーエイン村落都カーエイン村	5 人	児童・生徒 26 名、教師 2 名	164
	レーカウン中学校校舎建設事業 【マイナビ世界子ども教育財団】	2019年 4月～8月	チン州ミンダ群レーカウン村落区 レーカウン村	6 人	児童・生徒 104 名、教師 9 名	4,366
	チン州における中学校建設と維持管理体制構築事業 【積水ハウスマッチングプログラム】	4～1月	チン州ミンダ群ピュー村落都ピュー村	9 人	学校に通う生徒 83 人と教員 10 人	2,000
	コーヒーアンバサダー制度運営	10～3月	佐賀市、日本国内（オンライン含む）	5 人	コーヒーアンバサダー 60 人 栽培地域の農民約 300 人	147
	その他（イベント出展・物販等）	通年	佐賀市、日本国内（オンライン含む）	8 人	来場および参加者約 400 人	62
	小 計					34,372



コロナ禍で再認識した 人のつながりの大切さ



山路健造
(国内事業担当)



武富有香
(奨学金 / 国内事業担当)

国内事業

2020年度の国内事業も、新型コロナウイルス感染症の拡大に左右された1年でした。海を超えた国際交流はできず、対面型交流や居場所づくりも軒並み中止。オンラインを使った交流に切り替えられました。しかし、こういう時期だからこそ、人のつながりの大切さを再認識した1年でした。

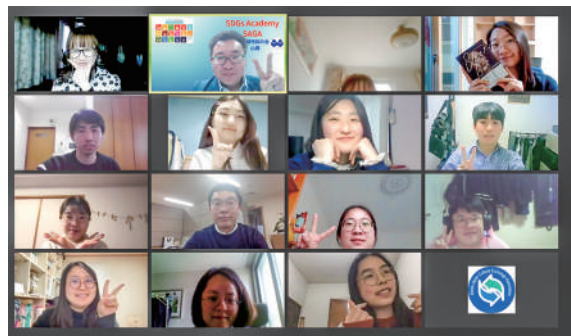
会の活動の原点である国際交流事業ですが、日中韓の大学生がSDGs（持続可能な開発目標）を学ぶ「SDGs Academy SAGA」も、2度の延期を経て、初めてオンライン交流に。ウェブ会議アプリZoomを使って、日中韓の課題解決に向け、2030年までのアクションプラン（行動計画）をつくりました。討論やオンライン飲み会など楽しんだ半面、日中韓の学生が「いつかは直接会おうね」と約束しあう姿が印象的でした。

本来は、学校でも家庭でもない第三の居場所として、子どもたちが集い、食事等を通して地域の人々と語り、触れ合い、自分らしくいられるような居場所を提供する「子どもの居場所づくり事業」。これらの「密」になることが許されない社会情勢の中、感染対策に注意し、6回の中止がありながら計27回は開催にこぎつけました。開催に向けて努力してくださった地域の方々に感謝します。

タイ農村部の学生が日本に留学し、日本語と介護を学ぶ「志学生プロジェクト」も、2020年春に来日予定だった2期生は、入国延期が続き、家庭の事情もあり、泣く泣く辞退となりました。一方で、1期生のYuさんは2年間の日本語学校を無事に卒業。2021年度からは西九州短期大学への進学が決まりました。

一方で明るい話題も。中小企業向けのSDGs経営支援プログラムでは、計5社の企業行動憲章、アクションプランの作成を支援しました。事業や働き方の見直しにつながったのみならず、メディアで取り上げられた企業もあり、労働意欲やブランドイメージの向上にもつながりました。

また、設立を支援してきたタイ人グループ「サワディー佐賀」が総務省ふるさとづくり大賞団体表彰を受賞したことも明るいニュースでした。グループ化を進めることで、孤立を防ぎ、災害情報の母語発信につながるということで、当会はサワディー佐賀をモデルに、ミャンマーとスリランカのグループ設立支援も動き始めました。



SDGs アクションプランを作った日中韓の大学生たち



日中韓大学生交流「SDGs Academy SAGA」

オンラインを活用して のべ 32 人が交流

時期：2020 年 10 月 30 日～2021 年 2 月 27 日

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、対面型交流の SDGs Academy SAGA は中止したものの、初めてのオンラインでのべ 32 人が交流しました。日中韓のチームで、2030 年までの SDGs アクションプランを作成しました。環境やジェンダーなどの課題について、三国の多角的視点が印象的でした。夜も懇親会をするなどして、十分にオンラインで国際交流ができることが実感できた半面、「早く対面型の交流がしたい」という声も多く上がりました。

(活用：ふるさと納税)



佐賀のタイ人と交流する 1 期生の Yu さん (右から 3 人目)



タイ介護留学事業「志学生プロジェクト」

第 1 期生が短大に進学決定

時期：2019 年 4 月～現在

タイ農村部の学生が日本語と介護の技術を学ぶ「志学生プロジェクト」にも、コロナ禍が影を落としました。2020 年春に来日予定の 2 期生 1 人は、留学が延期に。同年 10 月に渡航制限が緩和となったため受け入れ準備を進めましたが、タイも長引くロックダウンで経済が疲弊し、家計の中心だった彼女は辞退となりました。

一方で 1 期生は日本語学校を卒業し、介護福祉士を目指す短期大学へ進学。3 期生も 1 人が来日予定です。

(活用：ふるさと納税)



ふるさとづくり大賞は山口祥義 佐賀県知事 (右から 2 人目) へも報告した



地球市民共生事業

タイグループがふるさとづくり大賞

時期：2018 年 1 月～現在

佐賀県内に住むタイ人同士の横の連携をつくろうと、2018 年 1 月に設立したサワディー佐賀。タイ料理教室やタイ語教室などに加え、2019 年 8 月の佐賀豪雨を契機に、タイ語の災害情報発信などに取り組んできました。活動が認められ、令和 2 年度総務省ふるさとづくり大賞（団体表彰）を受賞しました。現在、ミャンマー語とスリランカのシンハラ語でも災害情報発信をするため、両国のグループづくりにも取り組んでいます。

(助成元・佐賀未来創造基金休眠預金)



夢の学校でのリベラルアーツ



講師派遣 (リベラルアーツ)

SDGs マスター 3 人を認定

時期：2020 年 4 月～2021 年 3 月

「小さな地球市民」としての視野を養う、放課後スクール「夢の学校」の児童向けのリベラルアーツ（教養教育）は、1 年を通じて「SDGs（持続可能な開発目標）」をテーマに実施しました。子どもたちは、架空の「ユメガク国」の家計収入について考えるワークや、すごろく、寄付に関する授業などを受講。最終回には SDGs クイズを実施し、優秀者 3 人を「SDGs マスター」に認定しました。賞状をもらった児童はとても誇らしげで、勉強意欲の向上にもなりました。



経営陣以外で企業の方向性を決めていきます



SDGs 導入支援事業

SDGs 行動憲章を作成し、導入した企業 5 社

時期：2020 年 4 月～現在

SDGs を自社の理念や活動に導入したい企業様を対象に支援を行いました。2030 年までに SDGs を達成するために企業の取り組みは必須となります。企業側も経営のことや環境により配慮した組織づくりを目指し、社員中心で作成などを行いました。業種はハウスメーカーやリサイクル業など多岐に渡っており、最後は経営者にプレゼンするというので、導入だけでなく、組織内のチームビルディングにも活かすことができました。



永原学園様と協定を締結しました



SDGs 推進事業

学校向けの SDGs セミナーを 13 校 1,000 人を超える学生および先生へ提供しました

時期：2020 年 4 月～現在

SDGs 推進に向け、これまで協定を結んでいた龍谷学園様だけでなく、県内の小中高生へ SDGs の授業、講演などを行いました。教科書にも SDGs を導入してきており、学校現場でも持続可能な社会の担い手育成が求められています。2020 年度新たに協定を結んだ永原学園様 (西九州大学短期大学部) へは 2021 年度から授業展開を行っていき、今後、佐賀、日本の問題解決を担っていく人材育成を行っていきます。



多くの団体と連携して災害支援



災害支援事業

令和 2 年度佐賀豪雨の支援活動を行いました

時期：2020 年 7 月～9 月

昨今の地球温暖化が加速し、毎年のように災害が県内各地で発災しています。その中で、2019 年に県内の CSO、52 団体を中心となり結成した佐賀災害支援プラットフォームとして災害支援を行いました。昨年度は鹿島や太良が特に被害が大きかったため、物資やボランティア派遣などのコーディネートを行い、コロナで県外から支援を受けにくい中、県内の人材で支えることができました。



居場所と支援者をつなぐイベントを行いました



子どもの居場所づくり事業

新規居場所の立ち上げコーディネート 2 団体

時期：2020 年 4 月～現在

佐賀市から委託を受け、当会がコーディネーターとして子どもの居場所づくりに取り組むのも、今年度で 4 年目を迎えました。市との連携により、循誘地区の既存居場所団体の運営面のフォローだけでなく、新規で居場所の立ち上げを希望する 2 団体のコーディネートも行いました。また、県の関係団体と連携した居場所マッチング交流会や、その他交流イベント等にて、支援者と居場所運営者をつなぐ活動を実施しました。



大変な時だからこそ
「大切な絆」を信じて



柴田京子
(ミャンマー国代表、プロジェクトマネージャー)



藤瀬伸恵
(事務局次長)

海外事業

2020年度は、ミャンマーでも新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な問題となりました。それに伴い、研修実施や事業地訪問の制限、建設事業実施時の資材到着遅延、作業員確保の困難等々、今まで経験したことのない問題に直面しました。しかし、思うように事業が進まない中、現地スタッフや建設会社の方々と代替案を考え、工夫して乗り越えました。その結果、一部の研修実施に遅れは出たものの、大きな建設事業も滞りなく終わることができました。一方、ミャンマー事業としてこれまで一生懸命取り組んできたソーシャルビジネスが、コーヒー分野で一歩大きく前進しました。数年前から進めていた生産に加え、加工実践、販路の確立に向けて動き出しました。

また、新しい企画や取り組みに多くのご支援いただきました。クラウドファンディングでのチン州学校建設資金、コーヒーアンバサダーとしてのコーヒー産地ご支援をはじめ、様々な形でのご支援、本当にありがとうございました。責任を持って、大切にに使わせていただきます。

最後に、現地スタッフの頑張りも特筆すべきことでした。コロナにもクーデターにも負けず「地域住民のために」という想いを胸に、心をつなげて事業を実施していこうとする現地スタッフの姿に、当会の「地球市民としての自覚をもち、地球的課題に取り組み、世界、そしてわが地域をよくしていこう」という想いが重なり、とても頼もしく、共に活動ができる喜びを感じました。

今後事業を進めていく中で、予期せぬ事態が起こることも多々あると思います。しかし、支援者の皆さんの温かい応援をいただきながら、信頼できる仲間たちと共に私たちにできることを全力で進めていきたいと思っています。(柴田)

奨学金事業についても、ミャンマー・スリランカともに Covid-19 対策としての学校の閉鎖が続き、奨学金事業の役割を果たすことが難しい1年となりました。2年に一度のスリランカ奨学生の日本招聘も実施できませんでした。また、ミャンマーは依然難しい状況が続いており、こどもたちは1年間学校に通えず、再開の見通しさえつきません。コロナの世界的感染拡大を受け、開発途上国ではこどもの貧困が15%増加するとの予測もあります。こどもたちの教育や福祉が置き去りにならないよう、ご支援いただいている皆さまとともに今後も教育支援に尽力していきたいと心から願っています。(藤瀬)



支援した子どもの人数：ミャンマー 74 名、スリランカ 40 名
ご支援いただいたさとおや様（支援者）の人数：151 名

時期：2020 年 4 月～2021 年 3 月

2020 年度は世界的に新型コロナウイルス感染症拡大が猛威を振るい、ミャンマー、スリランカともに学校が正常に開校されない状況が長く続き、思うように事業を進めることができませんでした。

スリランカでは学校の閉鎖と再開が繰り返され、1 月中旬にようやく再開し、奨学生 10 名も無事に決まりました。しかし決して学校の開校状況も順調とは言えず、新学期開始、大学入学試験や中学校卒業試験も通常より遅れての実施となっています。

ミャンマーでも新型コロナウイルスの影響ですべて閉校が続いていた中、2 月に起きた政治的混乱により、学校再開の目途も立たないまま現在に至っています。さとおやの皆様から 2020 年度にいただいたミャンマーの奨学金については、「教育のためのご支援なのだから、やはり現地へは学校に通ってもらうために奨学金を支給する」との方針を固め、現在は当会の事務局にて、大切にお預かりしています。

来年度も新型コロナウイルスの影響は続くことが予想されますが、さとおやの皆様の想いを少しでも現地へお届けできるよう、当会でできる形で子どもたちを支援する方法がないかを模索して参ります。

奨学金事業の支援地紹介

ティンテッパラヒタ

【奨学生の人数：20 名】

様々な地域の子どもたちを受け入れ、500 人以上が生活しています。パオ族、カイン族など異なる民族出身の子が一緒に暮らしています。山の上に位置しており冬はとても寒い地域です。



サンガミッタ女子校

【奨学生の人数：40 名】

スリランカ南部州のゴール市にある、小～高校の一貫公立女子校。ゴール市に女子学生が英語で教育を受ける学校がなかった時代に、南部州で初めての女子校として設立されました。

タンボジセンター

【奨学生の人数：14 名】

地球市民の会が直接運営している、農業畜産研修センターです。将来農村リーダーを目指す子どもたちが寮で暮らしながら農業や勉強に励んでいます。



ピンニャーウーインパラヒタ

【奨学生の人数：30 名】

地球市民の会タウンジー事務所から最も近いところにある僧院です。低学年から高校生まで 1,000 人以上の子どもたちが生活しています。

シーサイン寮

【奨学生の人数：5 名】

タウンジー事務所から車で 2 時間半ほどのところにあります。地元の若者が有志で運営している寮で、約 40 人の高校生が生活しながら学校に通っています。

（※ 2020 年度をもって支援終了）



マインピンパラヒタ

【奨学生の人数：5 名】

タウンジー事務所から車で約 1 時間半程度のところにある僧院です。数年前まで紛争があった影響で子どもたちの進学率が非常に悪く、学校の数も少ない地域のため、パラヒタは必要な存在です。

（※ 2021 年度より支援開始）



※パラヒタとは、僧侶がお布施などで運営している「子ども寮」です。

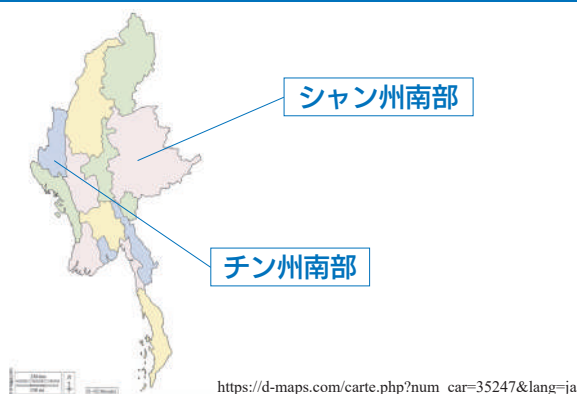


武富有香

（奨学金 / 国内事業担当）

新型コロナウイルス感染拡大とともに始まった私の地球市民の会での勤務。入職早々、業務に慣れないうちからテレワークになるなど、私自身にとっても波乱万丈な幕開けでした。この一年間で、現地の子どもたちのことを心配してお声がけしてくださるさとおやの皆様と出会ったことに感謝しています。さとおやの皆様との触れ合いを通し、改めて自分自身に「人のしあわせが自分のしあわせ＝地球市民」という意識があることに気づくことができました。現地の子どもたちを、当会を支えていただき本当にありがとうございます。これからも引き続きご支援いただくと幸いです。

ミャンマー事業



ミャンマーではシャン州とチン州の2つのエリアで事業を実施しました。

- ・循環型農業・畜産業支援
- ・教育支援
- ・環境保全
- ・地域開発



マインピン地域農業堰建設事業（シャン州）

乾季も水にアクセスできる人 250 世帯 1,250 人

時期：2019 年 1 月～現在

マインピン地域は湧き水による水資源が豊富です。しかし水量の管理や農地への配水設備が不十分のため水を貯水することができず、雨が降らない乾季には農業ができません。既存の堰は地域住民たちが手作りした木造の簡易的なものであり、老朽も進んでいるため、十分な堰としての機能を果たしていません。私たちは、豊富な水資源を持続的に管理し、年間を通じて農地に配水ができるよう、堰の建設を行っています。

（助成：外務省日本 NGO 連携無償資金協力）



マインピン地域水源涵養・アグロフォレストリー普及事業（シャン州）

植林した本数 5,500 本（12ha）

時期：2020 年 7 月～現在

マインピン地域は、15 年ほど前までは深い森に覆われていました。しかし、駐屯する国軍による大規模な乱伐採と木材販売、更に地域外住民による過度な農地開発が行われたため木がなくなってしまいました。本事業では、8 村の住民と緑化委員会が協力し、水源周辺及びアグロフォレストリーデモファーム等合計 12ha に 5,500 本の植林を実施しました。また、今後育苗施設の整備、緑化活動の啓発研修及びアグロフォレストリー・循環型農業研修を実施していきます。

（助成：公益社団法人国土緑化推進機構）



インレー湖水質浄化啓発活動（シャン州）

植林した数 7,970 本

時期：2020 年 4 月～現在

インレー湖では、近年の人口増や生活様式や農業生産方法の変化が、湖の環境に大きな影響を与えていると言われています。この環境悪化は湖周辺だけの問題ではなく、湖を取り囲む山岳地域で生活する人の生活様式にも深く関わっています。本事業では植林活動のほか、湖上、湖畔、周辺山岳地域でそれぞれができることを考え、啓発活動、植林、ゴミ拾い、ゴミ処理委員会の組織化、少量の薪で使用可能なかまどの配布等多面的な活動を行っています。

（助成：公益財団法人リそなアジア・オセアニア財団、公益社団法人国土緑化推進機構）



ホテイアオイ堆肥を作製している様子



ホテイアオイ堆肥化と土砂流入防止（シャン州）

引き揚げたホテイアオイの量 16トン

時期：2019年4月～

インレー湖の湖面に繁殖する外来種の水草「ホテイアオイ」。人々の交通手段である通船を妨げ、増殖により湖の生態系を乱しています。私たちはホテイアオイを引き揚げ、地域住民が使用できる堆肥化を進めています。ホテイアオイは窒素が豊富なため作物の生育に有効です。更に改良を加えて付加価値を付け、環境保全型の有機たい肥としての販売を目指しています。堆肥化と併せ、湖への土砂流入を防ぐよう田んぼの整備も行っています。

（助成：公益財団法人日本国際協力財団）



センターに寄宿する子どもたち
修理された屋根の前にて



タンボジセンターキッチン屋根修繕（シャン州）

センターで暮らす子どもと職員 約20人

時期：2020年5月

5月にタンボジ農業畜産研修センターがある地域で強風が吹きました。圃場の作物の実も落ち、強風による倒木がセンターの講義棟に直撃しました。人的被害はありませんでしたが、老朽化していた講義棟の屋根は大きく破損しました。雨季が近づいていたため、いつもタンボジセンターを支援してくださる方のお力を借り、屋根と天井を直しました。子どもたちも安心してセンターでの暮らしと学びを続けることができるようになりました。

（個人寄付）



栄養研修に参加した住民を訪問し
家庭菜園の状況を確認の様子



循環型農業・栄養研修（チン州）

研修を受講した人 約500人

時期：2018年10月～現在

ライレンピー地域では過度な移動式焼畑農業により、土壌の劣化や収量の減少、人々の栄養状況に問題を抱えていました。ライレンピー持続開発研修センターを拠点に循環型農業の基礎～応用の知識と技術研修を行っています。また女性を対象とした栄養研修では、妊産婦や乳幼児の栄養改善に注力しています。新型コロナウィルス感染拡大により実施が困難な時期もありましたが、募集以上の参加申込みがあるほど、地域住民にとって関心の高い学びとなっています。

（助成：外務省日本 NGO 連携無償資金協力）



ライレンピー持続開発研修センター



遠隔型研修の実施整備事業（チン州）

オンライン研修にアクセスできる人 約3,000人

時期：2021年1月～3月

チン州でも新型コロナの感染が広がり、移動や集会が厳しく制限されるようになりました。このような状況の中でも農業研修や栄養研修を継続できるよう、オンラインでの研修開催を模索。ライレンピーは通信環境が非常に不安定で、特にセンターは地形的に電波が届きにくい場所にあるため、センターの通信環境整備に取り組みました。アンテナを設置したことで以前と比べて格段に電波が良くなり、今まで不可能だったビデオ通話ができるようになりました。今後、オンライン研修を各地に向けて発信していく予定です。

（助成：公益財団法人かめのり財団）



ライレンピー町飲料水・生活用水環境整備（チン州）

水環境が改善される人 433 世帯 2,926 人

時期：2020 年 1 月～現在

ライレンピー町では、既存の給水設備の欠陥により慢性的な水不足を抱えています。町への配水は 1 日 2 回、1 回あたり 2 時間のみです。女性や子どもが町内の水栓まで水を汲みに来ます。山岳集落のため急傾斜な道が多く、女性の流産も頻繁に発生しているほか、衛生問題も多く、水に起因するお腹の病気が蔓延しています。私たちは水源から各家庭への給水・配水設備を整備し、生活や農業が十分にできる環境づくりに取り組んでいます。

（助成：外務省日本 NGO 連携無償資金協力）



ミンダ町飲料水・生活用水環境整備（チン州）

水環境が改善される人 12,000 人

時期：2020 年 1 月～現在

ミンダ町は人口 1 万 2,000 人ほどのチン州南部にある小さな町です。既存の給水設備に欠陥が多く、生活に必要な水さえ十分に配水されていません。特に暑季は月に 1,2 回の配水に頼って暮らしているため、衛生状況の悪化により感染症が蔓延し、命を落とす子どもが多くいます。給水設備の整備により、日常に必要な水を各家庭で使えるようにし、子どもたちを対象とした衛生研修を行い、清潔・健康な生活を送るための啓発活動も行いました。

（助成：外務省日本 NGO 連携無償資金協力）



コーヒー栽培普及・農民組織の基盤強化事業（チン州）

コーヒー育苗数 約 1 万本

時期：通年

ライレンピー地域は年間で 2 万円ほどしか現金収入がありません。これまでは自給自足に近い生活を送ってきましたが、近年の人口増による過度の焼畑、それに伴う森林減少や土地の疲弊が引き起こす減収により、生活が困窮しています。本事業では、当会が運営するライレンピーセンターにて育苗した苗木を用いて栽培を普及し、地域の農民組織による生産されたコーヒーの集荷・出荷システムを構築することで、農民の現金収入増加を目指します。

（寄付、自己資金）



小中高生への環境保全啓発活動（チン州）

植林した数 800 本

時期：2020 年 4 月～2021 年 3 月

近年の急速な人口増加により、ライレンピーでは森林破壊が進んでいます。問題意識を持っている住民は少なく、学校での環境教育も行われていません。そこで、環境問題への理解を深め、保全活動に取り組むきっかけとなるよう、学校 2 校の敷地内に小規模な学校林を造成しました。新型コロナウィルスの影響で学校が休校したため、教師と保護者のみで造成を実施しましたが、学校再開後、生徒を対象とした環境保全研修など環境教育を実施していく予定です。

（助成：公益財団法人イオン環境財団）



堆肥づくりの様子

学校農園実践による循環型農業普及事業（チン州）

農園づくりを行う児童・保護者・先生の数 約 300 人

時期：2020 年 4 月～2022 年 3 月

ミンダ 2 校およびライレンピー 1 校、計 3 校の学校内に学校農園を整備し、児童・生徒や保護者、地域の人々に基礎的な循環型農業の知識を習得してもらう事業です。あわせて栄養研修を実施し、農園で育てた野菜を使って調理実習も行います。各校の学校委員会と協議し、農園整備の準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響でスケジュールに遅れが生じています。事業期間を 1 年延長し、現地の状況をみながら 2022 年 3 月までに実施する予定です。

（助成：一般社団法人ゆうちょ財団）



栄養研修に参加した女性たち

スピルリナによる栄養改善事業（チン州）

栄養研修に参加した人 93 名

時期：2020 年 4 月～2022 年 3 月

チン州は、ミャンマー国内の他地域と比較して住民の栄養・健康状態が悪い地域です。頻繁に体調を崩し、医療費が家計を圧迫しているケースも少なくありません。そこで、サバウンテー村で栄養研修を実施し、多くの住民が三大栄養素など基礎的な栄養知識を学びました。今後、他 3 地域（ライレンピー、ミンダ）でも実施します。また、栄養価が非常に高い藻である“スピルリナ”の養殖を行い、地域に普及させる活動も同時に進めていく予定です。

（助成：株式会社良品計画）



建設が完了したマジャン準中学校

マジャン準中学校校舎建設事業（チン州）

学習環境が改善された子ども 約 100 人

時期：2020 年 6 月～9 月

マジャン村では、2012 年に小学校を建設し 5 年生までが学んでいました。その後より高い教育を受けることができるよう、準中学校への昇格が認可されました。7 年生までが学べるようになり、学校に通う子どもの人数が大幅に増加しました。しかし、当初建設された木造校舎 1 棟をそのまま使用しているため、狭い空間で学ぶことを余儀なくされていました。新しい校舎を建設し、通学する子どもたちが伸び伸び学ぶことができる環境づくりを行いました。

（個人寄付）



村人総出でレンガなどの資材を建設地へバケツリレーで運ぶ様子

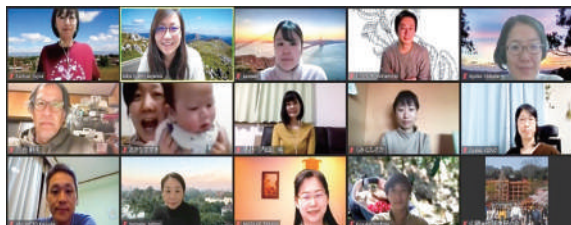
ピーー中学校校舎建設事業（チン州）

学習環境が改善された子ども 約 90 人

時期：2020 年 4 月～2021 年 1 月

ピーー中学校は、1995 年に建設した 2 階建て木造校舎を使用してきました。山岳地域らしい急こう配な傾斜地に立地しているため、老朽化で建物の床下の木材が折れた状態でした。児童数の増加に伴って村が教室を増設してきましたが、建物自体の老朽化が著しいことから、非常に危険な状態になっていました。私たちは、新しい安全な校舎の建設を行い、村が自分たちで維持管理していくための基金創出の体制づくりを行いました。

（助成：積水ハウス株式会社）



アンバサダー会員限定オンラインイベントに
コーヒー専門家をお迎えしました



ミャンマーコーヒーファンづくり

コーヒーアンバサダー 60人

時期：2020年10月～2021年3月

2018年にチン州ライレンピー地域にて開始したコーヒー栽培普及プロジェクト。まだ日本でも知名度の低いミャンマーコーヒーを応援する「コーヒーアンバサダー制度」を開始しました。アンバサダー会員は寄付を通して支援するだけでなく、私たちと一緒にチン州ライレンピー地域のストーリーやコーヒーを広めていく協力者と位置付けています。会員限定のオンラインイベント等を実施し、ミャンマーに様々な縁やゆかりのある会員同士の交流を図っています。

(助成：NGO 福岡ネットワーク・真如苑、個人寄付)



SAGAN COFFEE FESTA2021 出展時の様子



国内イベント・ミャンマー雑貨販売

来場および参加者数 400人以上

時期：通年

ミャンマーの文化や魅力、農村地域の課題に取り組む私たちの活動を知ってもらうことを目的として、日本国内でのイベントに出展しています。2020年度は、佐賀県内にて行われた「タイフェスティバル2020」、「SAGAN COFFEE FESTA2020&2021」、「国際交流フェスタ」に出展しました。新型コロナウイルス感染予防を行いつつ、ミャンマーに関心を持ってくださる方々にお会いでき、多くの方のお心に支えられて活動できていることを改めて実感する機会となりました。



神崎涼子

(チン州ミンダ事務所プロジェクトアドミニストレーター)

私は新型コロナウイルス感染拡大のため2020年3月末に日本に一時帰国し、それ以降は自宅でのリモートワークが続いています。遠隔での業務はやりにくさを感じますが、現地スタッフがしっかりと動いてくれるので大きな問題なく事業を進めることができました。クーデターが起き、先行きが見通せない状況となっていますが、これからも現地の人々の協力を得ながら私たちのやるべきことを粛々と進めていければと思っています。



ベンジャミン

(チン州ミンダ事務所フィールドオフィサー)

2020年度はコロナの影響で活動に様々な影響が出ました。特に農業・栄養研修は大人数が集まるため実施できない時期もありましたが、地域住民やカウンターパートと密に連絡を取り、様々な対策をして可能な限り事業を継続してきました。感染者数が減少に転じた頃、今度はクーデターが発生。チン州でも連日デモが行われています。地球市民の会は、農村地域の住民の暮らしのために事業を行っています。今は本当に大変な状況ですが、安全をきちんと確認した上で、地域の人々と協力しながら今後も活動していきたいと思っています。応援よろしくお願いします。



諫山由紀子

(ミャンマー事業国内調整員)

体調を崩してはじめて健康であることの有難みに気づかされるように、コロナやクーデターなどイレギュラー且つ緊急性ある事態を通して、日ごろのスタッフ一人一人や支えてくださる方々のお力を改めて実感する1年間だったと感じています。何事も、一人の力、一つの要素だけで成り立つものはないのだと痛感します。目の前のピンチをいかに乗り越えるかを視界の中心に置きつつも、危機ある状況下でこそ見えてくる平時の自分たちの強みと弱みをしっかり受取り、これから状況が戻っていく日に向けて研鑽する時ともしなければと思っています。

活動にご参加いただいたみなさんの声

◆ミャンマー・インレー湖環境保全研修（りそな）の参加者

研修を受けて、ゴミをちゃんと捨てないといけないこと、ゴミを燃やすと危険なことを知りました。ゴミ箱ももらい、捨てる場所もできました。これからは環境のことを考えて、ゴミの捨て方をしっかりしていきます。



◆ミャンマー・マインピン植林事業（緑の募金）の参加者

今までは、木を植えることに特に興味はありませんでした。でも、研修で航空写真を見せてもらったり、木と降雨量の関係を説明してもらい、木を植えることの大切さに気がきました。なので、今年は去年よりもたくさん植えたいと思っています。



◆インターン生・影井名月さん（筑紫女学園大学）

10月に開催した「SDGs Academy SAGA」に関わらせていただきました。日韓の大学生を対象に3日間で両国の社会問題を共有しSDGsアクションプランを作成するイベントで、初のオンライン開催でした。SDGsについて改めて学び、異常気象や人権問題の深刻さを知るにつれ、このイベントの重要性を実感しました。私は交流会の企画と参加者リーダーを任せていただき、言語能力や知識量に差はありましたが、全員が発言しやすい環境づくりと短期間でのアクションプラン完成を目指しました。手探りでしたが、積極的で活発な議論ができ、交流会でも日韓の料理を披露し合いオンライン上でも打ち解けることができました。学び合い思考し議論したことで社会問題に対して当事者意識を持って考える力が付いたと思います。普段知ることのない韓国の社会問題やSDGsの取り組みも知り、日本よりSDGs先進国であるとわかり日本にも取り入れられるアクションが多くあったのも学びでした。今回完成したアクションプランを長期的にアクションに移していけるイベントや繋がりになることも期待しています。



◆SDGs 中小企業支援プログラム・西村商店 雪竹あゆみさん

当社は地球市民の会様のSDGs経営戦略支援プログラムを通じて、2020年5月に西村商店SDGs企業行動憲章と具体的なアクションプランを策定することができました。SDGsという枠組みが大きく、全体を捉え難い目標について、講義とワークショップを通じてわかりやすく全スタッフにご教示いただけたことで、誰一人取り残されることなく理解を深めることができました。行動憲章策定後は、月に一度外部専門家としてアクションプランの進捗をモニタリングしていただき、当社だけでは解決できない問題に対して、解決策の提示や専門家の紹介をしていただき非常に助かりました。今後も継続してサポートをお願いしています。



協力者一覧

正会員

相川満雄 / 青柳達也 / 秋葉幸伸 / 芦刈由美子 / 麻生靖史 / 天ヶ瀬美津代 / 有澤正典 / 五十嵐勉 / 井川尚子 / 諫山由紀子 / 泉万里江 / 伊藤晶子 / 稲垣千佳子 / 稲富正人 / 井上議 / 井上聖子 / 井上信宏 / 井上美由紀 / 今村雅弘 / 岩崎正 / 岩永清邦 / 岩本かおる / 上地章夫 / 梅野玲子 / 江口恵美 / 大串博志 / 大野博之 / 大野勝 / 岡本勇一 / 尾崎義朗 / 小野康子 / 加藤次男 / 蒲生正裕 / 唐澤利夫 / 河野一郎 / 川原田知章 / 神崎涼子 / 菊野善久 / 北島恭一 / 北原寿豊 / 北村直樹 / 木下武文 / 木原奉文 / 久保正敏 / 栗田明 / 古賀愛基 / 古賀大治 / 古賀大之 / 古賀友大 / 古賀洋子 / 古賀陽三 / 小園拓馬 / 小原健史 / 小原嘉文 / 小松敏正 / 米谷正勝 / 小柳哲朗 / 小山恭子 / 坂井邦夫 / 坂井善徳 / 坂井学 / 佐久間博 / 櫻井愛子 / 薩摩和男 / 佐藤昭二 / 七田聡子 / 柴田京子 / 白倉和子 / スイージー弾 / 瑞木一博 / 杉本互 / 鈴木亜香里 / 成平尚子 / 瀬戸幸子 / 瀬戸法子 / 千布浩行 / 副島正幸 / 田口光雄 / 武富有香 / 田島広一 / 田中進 / 田中啓之 / 田中陽子 / 多良淳二 / 堤加奈子 / 堤素行 / 鶴田さゆり / 手嶋努 / 土井敏弘 / 土井敏行 / 徳光清孝 / 長澤京子 / 中島俊子 / 永富文 / 中村清美 / 中村電機製作所 / 中村元 / 中本正一 / 夏秋葉子 / 成尾雅貴 / 西久保弘克 / 西野伸一郎 / 西村明美 / 西村尚子 / 西村一守 / 西村元男 / 丹羽佳那子 / 納富ハヤ子 / 野上俊樹 / 野口翔平 / 野田誠 / 八谷まち子 / 八田康博 / 原口一博 / 原利幸 / 春木伸哉 / 廣瀬伸恵 / 深川千幹 / 深町浩二 / 福岡資麿 / 藤崎博喜 / 古川久美子 / 古川昌宏 / 古川康 / 堀口勝郎 / 前田勝男 / 前山恵士郎 / 前山由紀子 / 増田政司 / 松尾大輔 / 松尾隼雄 / 満岡聡 / 南畑みき / 峰悦男 / 宮嶋寛治 / 宮島町子 / 宮嶋美子 / 宮地普工 / 牟田清敏 / 村田麗紅 / 本村満江 / 森高康行 / 森永勝男 / 諸井政司 / 八坂信雄 / 弥富雅信 / 山口晃 / 山口スミ子 / 山口久臣 / 山路健造 / 山下定美 / 山下伸二 / 山下春美 / 山下雄司 / 山下雄平 / 山本泰 / 横尾孝幸 / 吉田英雄 / 吉次孝 / 吉村直紀

学 生 会 員 田代英大 / 中山康平

購 読 会 員 岡本明久 / 古賀久志 / 重永哲郎 / 御厨初美

賛助寄附会員

梅野美和子 / 江口幸光 / 江里口五月 / 大塚圭子 / 加藤佳美 / ㈱フルーム / 川松広栄 / 栗林智佳 / 栗林正則 / 高祖広季 / 古賀大樹 / 小林敏孝 / 幸松公司 / 角田さとみ / 高瀬伶 / 田中光妙 / 鶴田雅敏 / 中村俊範 / 中村広乃 / 南里健 / 南里葉子 / 西久保裕彦 / 馬場憲治 / 馬場千香 / 早木睦美 / 原田裕子 / 柳浩輔 / 山下翔一 / 山下敏弘 / 山田美穂子 / 横山真鳥子 / 吉田純子 / ラフィエユコンサルティング同 / 劉榮俊

団体賛助寄附会員 一社) ユニバーサル人材開発研究所 / ㈱北島 / ㈱佐賀銀行 / ㈱佐賀新聞社 / ㈱福岡商店 / ㈱ティグレ 平湯慎介

寄 附 今村京市 / 大野博之 / 加藤次男 / 小島道子 / 早田昌吾 / 田中道永 / 寺園彩 / 成尾雅貴

地球市民サポーター 新ヶ江一男 / 藤本愛矢

国内事業寄附

池田己知美 / 上田由賀 / 白田弓子 / 内田紗綾香 / 江口正一 / 片岡さつき / 狩野ますみ / ㈱A-muse / 唐澤利夫 / 北御門織絵 / 北村浩 / 栗原みえ / 甲野綾子 / 古賀重成 / 古賀誠二 / 古賀洋子 / 後藤まどか / 斉藤祐子 / 相良貴子 / 新ヶ江一男 / 高橋香歩 / 田中智佐 / 田中悠浩 / 西村一守 / 廣瀬伸恵 / 藤田佳典 / 保明麻衣 / 山路健造 / 山路信之 / 湯田千尋 / 米村淳平 / 渡辺太郎

国内事業サポーター 山路信之

奨学金寄附

石丸美記 / 円城寺久好 / 大野可和世 / 大野寛和 / 大野博之 / 大八木佳代 / 川根浩二 / ㈱クリアオペレーション / ㈱STYZ / 神崎光子 / 小原孝嗣 / 相良貴子 / 武富祐子 / 鶴田さゆり / 富野ともえ / 中津貴美子 / 西村尚子 / 藤田米美子 / 前山恵士郎

奨学金サポーター

荒井金苗 / ㈱クリアオペレーション / ㈱Shift / ㈱ライフサポート / 岸川小百合 / 篠崎京子 / 奨学金サポーターから支出 / 砂子啓子 / 田代正一 / 張美永 / 寺丸吉徳 / 長澤京子 / 納江幸利

スリランカ・シシヨダ奨学金

栗竹和美 / 池田サチ子 / 伊東山優子 / 江口幸光 / 大坪美穂 / 亀井一恵 / 川根浩二 / 北原万紀 / 後藤聖河 / 佐々木丘 / 新ヶ江一男 / 富重奈々 / 中浦裕子 / 中原由紀子 / 成尾雅貴 / 南里健 / 南里葉子 / 西山喜代 / 博多屋敏明 / 林真由美 / 平川恵里 / 深町浩二 / 藤田佳典 / 古野真美 / 外尾康昭 / 松村扶美 / 野直喜 / 水間瑠 / 森田由香 / 保明麻衣 / 安川義巳 / 山路健造 / 吉田純子 / 劉榮俊

ミャンマー・タンボジ奨学金

愛野良治 / 秋山広子 / 井川尚子 / 石井津智子 / 石川愛彦 / 泉万里江 / 一社) ユニバーサル人材開発研究所 / 井上弘子 / 牛草綾子 / 江口陽子 / 円城寺久好 / 大野可和世 / 大野寛和 / 大八木佳代 / 岡野美佳 / 上口智恵子 / 萱野亮 玲奈 / 川尻弘樹 / 神崎加与子 / 栗栖かいん / 兼宗真 / 合同会社栗隠 / 古賀洋子 / 小嶋倫子 / 小林敏孝 / 佐々木丘 / 七田聡子 / 七田朋丈 / 新ヶ江一男 / 末永真由 / 杉本佳士 / 酢谷竹雄 / 砂子啓子 / 早田昌吾 / 武富祐子 / 武富有香 / 多々良治昭 / 田中啓之 / 寺丸吉徳 / 同) 栗隠 / 中根緑 / 仲野由貴子 / 中原由紀子 / 中山佐織 / 成尾雅貴 / 西花知子 / 西村歯科医院 / 西村尚子 / 納江幸利 / 野田直徳美 / 納富ハヤ子 / 花澤美和子 / 馬場信禎 / 濱元多美 / 林欽彌 / 樋渡友子 / 深町浩二 / 藤田米美子 / 藤田佳典 / 前山恵士郎 / 前山由紀子 / 牧いおり / 真子ハマヨ / 松林久美子 / 松村扶美 / 野直喜 / 豆田千明 / 牟田泰明 / 森山翔太 / 八坂信雄 / 泰松智子 / 山崎弥生 / 山路健造 / 山下雄司 / 吉井学 / 吉田純子 / 吉原弘子 / Lithe 株式会社 / 劉榮俊 / 渡辺太郎

ミャンマー・地球市民(シャン)奨学金

愛野良治 / 荒木道生 / 伊豆哲也 / 一社) 和スポーツクラブさが / 井手昌孝 / 伊東山優子 / 宇都宮やす子 / 大川曉史 / 大野博之 / 岡大雅 / 奥野晃司 / 鍵本晶子 / 鍵本彰子 / 片山博彦 / ㈱クリアオペレーション / ㈱シモムラ / ㈱増屋 / 浦原圭祐 / 川崎彬 / 川尻弘樹 / 菊池英里 / 氣谷英里 / 草場栄美 / 小林敏孝 / 坂井邦夫 / 白石緒子 / 白濱寿美 / 杉本佳士 / 住吉真奈 / 妹尾豪 / 高橋啓太 / 塚原正一郎 / 築地宏樹 / 手嶋努 / 豊増裕美子 / 永井陽右 / 中山厚 / 中山康平 / 成澤俊彦 / 南里健 / 南里葉子 / 新田隼己 / 野内直徳美 / 野田聖太 / 花泉雅徳 / 東田雄一郎 / 東田優子 / 福地啓介 / 藤戸博 / 藤永敏広 / 船山沙耶 / 船山駿 / 船山美香 / 外尾康昭 / 待鳥信昭 / 松尾朋子 / 松林久美子 / 松村扶美 / 野直喜 / 三木聡子 / 森田由香 / 安田征弘 / 山内理希 / 山下雄司 / 山路信之 / 山本留美 / 横尾正将 / 吉田英雄 / ラフィエユコンサルティング同 / 劉榮俊

ミャンマー事業寄附

赤司優子 / 浅野亨 / 網本恵介 / 五十嵐勉 / 井川尚子 / 生駒美樹 / 石川愛彦 / 石川奈穂子 / 石丸夏姫 / 石本幸司 / 医新研究会 / 伊豆哲也 / 泉章 / 泉太郎 / 泉万里江 / 板垣暁歩 / 一倉敦子 / 一社) ユニバーサル人材開発研究所 / 一社) 和スポーツさが / 彌永玲子 / U Tin Soe / 上地章夫 / 上野明音 / 白井行夫 / 内尾政明 / 内田桂 / 宇都宮やす子 / 江頭美津代 / 江頭洋子 / 江口正一 / 江口陽子 / エルム・ドメテス西嶋あきみ / 円城寺久好 / 遠藤加菜 / 大石俊 / 大田田定 / 大坂加那子 / 大澤延郷 / 大澤夕子 / 大芝和実 / 大島ゆかり / 大塚行誠 / 大槻修子 / 大場翠 / 尾方岳憲 / 尾形美香 / 岡野美佳 / 岡部凌空 / 岡本明久 / 岡本都子 / 岡本さやか / 奥富泰地 / 織田義人 / 鹿毛謙作 / 梶博之 / 桂川融己 / 金子理麻子 / ㈱クリアオペレーション / ㈱ヤギ / ㈱増屋 / ㈱田島興産 / ㈱フルーム / ㈱良品計画 / 鎌形翔太 / 神崎道子 / 亀山仁 / 唐澤利夫 / 唐島優美 / 河合嗣生 / 川上修五 / 川上真樹 / 川尻弘樹 / 川原田知章 / 神崎加与子 / 木下博和 / 久原輝子 / 栗林正則 / khin aung / 小池みどり / 小出美佐 / 高祖広季 / 甲野綾子 / 小島道子 / 小谷博光 / 小寺美奈子 / 五嶋淳 / 小西晶子 / 小林由右子 / 小原孝嗣 / 小商店金属部 / 小森静香 / 財) パブリックソース財団 / 坂ノ上卓一 / 坂本美恵 / 佐々木翔 / 佐々木ゆみこ / 薩摩和男 / 佐藤美文 / 佐藤わか / サンク・ラスタ株式会社 / 柴田勝俊 / 柴田京子 / 清水和子 / 諸石愛子 / 白濱洋子 / 新居穂花 / 新ヶ江一男 / 進士美和子 / 進武彦 / 新橋美里 / 末永弘次 / 末永淳一 / 鈴木亜香里 / 鈴木彩乃 / 鈴木理華子 / 鈴木俊良 / 鈴木智子 / 鈴木友子 / 酢谷竹雄 / 砂子啓子 / 成平尚子 / 関ゆうゆ / 妹尾豪 / 千住光章 / 早田昌吾 / 副島正幸 / ソーシャルアクション Co. ㈱ / 田口直子 / 武富有香 / 竹之内望 / 竹村舞葉 / 立石重敬 / 田中進 / 田中智佐 / 田中英光 / 田中悠浩 / 谷口クニ子 / 田宮雅子 / 鶴田さゆり / 鶴田雅敏 / 手嶋努 / 手嶋まなみ / 寺井弘 / 寺園加代子 / 寺田祥二 / 土井千代美 / 土井敏弘 / 特非) 地球市民 ACT / 特非) 日本ミャンマー豊友会 / 富野ともえ / 朝長勇 / 豊増裕美子 / 中沢和明 / 永田洋子 / 中根緑 / 中野健二 / 中原健太郎 / 仲間明子 / 永松恵子 / 仲道由美子 / 中村善輝 / 中村達哉 / 中村真 / 中山康平 / 中山佐織 / 鍋島家 古川久美子 / 鍋島洋一 / 西岡利恵 / 西尾浩美 / 西川登 / 錦島佐代子 / 西岐柚里佳 / 西久保弘克 / 西坂久美 / 西田美由紀 / 西村一守 / 西村尚子 / 新田爾華子 / 布留谷望 / 野内直徳美 / 野田聖太 / 野田誠 / 橋本和博 / 秦恵子 / 八谷まち子 / 服部駒子 / 花泉雅徳 / 花澤美和子 / 花原朋子 / 馬場憲治 / 羽場内科 羽場文彦 / 馬場範明 / 浜崎夏海 / 林欽彌 / 林理枝 / 原口代志子 / 反田揺南 / 久居ライオンズクラブ / 尾藤雅士 / 平尾美沙 / 平田節子 / 廣瀬伸恵 / 深川久美子 / 深川りか / 深町浩二 / 福島孝尚 / 福島寿枝 / 福島正則 / 福田卓也 / 藤田米美子 / 藤田茂樹 / 藤田亮一 / 藤戸博 / 二田水宏彰 / 古川久美子 / 平家彰理 / 外尾康昭 / 前田明彦 / 前田幹江 / 増井健介 / 舩田和子 / 増田誠司 / 待鳥信昭 / 松尾明日美 / 松並陽一 / 松林久美子 / 松原守男 / 松本さえ / 三上暁 / 御厨初美 / 三島舞 / 水口知香 / 三井物産 / 南方雄貴 / 南進一郎 / 宮川八重子 / Myanmar unity company limited / 向井由佳里 / 目崎祥江 / 米良彰子 / 森下聡美 / 森誠 / 森明絵子 / 山浦康寛 / 山口敦子 / 山口裕美子 / 山崎佳子 / 山崎正嗣 / 山崎祐希 / 山路健造 / 山下敏弘 / 山下春美 / 山下雄平 / 山路信之 / 山田耕介 / 山田祐子 / 山中充 / 山本智奈美 / 湯浅岳史 / 遊亀美枝 / 与安元美 / 吉井学 / 吉岡澄子 / 吉田英雄 / 吉村アスキ / Lithe 株式会社 / 若林正一 / 渡井ひろ / 渡邊一考 / 渡辺太郎

ミャンマー事業サポーター 新ヶ江一男 / 資証那由多 / 寺井弘 / 花泉雅徳

書損し書庫・古切手・未使用切手他

銀生美矢子 / 有田町社会福祉協議会 / 上口智恵子 / 上地章夫 / 岡本美穂 / 鹿島市社会福祉協議会 / 金嶽和法 / 唐津市社会福祉協議会 / 川上真樹 / 小原嘉文 / 坂井晴香 / 佐賀北高通信制 / 佐賀銀行 / 佐賀県南部地区郵便局局長会 / 佐賀市役所資産税課 / 佐賀女子短期大学 / 相良貴子 / 菅原政子 / 武雄市社会福祉協議会 / 武富有香 / 千布浩行 / つつみクリニック / 手嶋努 / 中島ノズル株式会社 / 中島康子 / 中村美砂子 / 長山将大 / 西唐津中学校 / 西川副小学校 / 野田千秋 / 野田誠 / 秦恵子 / 原秀嘉 / 東田雄一郎 / 東田優子 / 平松清風大学 / 藤原克子 / 本庄小学校 / 松尾俊明 / 御厨初美 / 三瀬小学校 / 南川副小学校 / 宮本健吾 / 森田由香 / 吉田純子

企 業 協 力 ユニカレさが / ㈱佐賀新聞社 / ㈱佐賀銀行 / ㈱北島 / ㈱福岡商店

※たくさんのご寄附をいただき、ありがとうございます。2020年4月1日～2021年3月31日の期間にご入金くださった方を掲載させていただきました。
※大変失礼ですが、敬称は省略させていただきます。

2020 年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告

活動計算書 (税込) (単位: 円)
自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日

【経常収益】	
【受取会費】	
正会員受取会費	1,947,000
学生会員受取会費	12,000
賛助寄附受取会費	421,000
団体賛助寄附受取会費	400,000
購読会員受取会費	12,000
【受取会費】 合計	2,792,000
【受取寄付金】	
本部寄付金収入	435,495
国内寄付金収入	8,416,350
奨学金寄付金収入	5,565,796
ミャンマー寄付金収入	11,225,445
【受取寄付金】 合計	25,643,086
【受取助成金等】	
国内助成金収入	1,152,630
ミャンマー助成金収入	107,449,766
【受取助成金】 合計	108,602,396
【受取委託金】	
国内委託金収入	2,744,296
【受取委託金】 合計	2,744,296
【事業収入】	
国内事業収入	1,577,887
ミャンマー事業収入	213,066
【事業収入】 合計	1,790,953
【その他収入】	
受取 利息	276
雑 収 益	2,778,191
【その他収入】 合計	2,778,467
経常収益 合計	144,351,198
【経常費用】	
【経常費用】	
【直接事業費】	
国内事業支出	11,649,817
奨学金事業支出	383,665
ミャンマー事業支出	34,372,580
【直接事業費】 合計	46,406,062
【人件費】	
給料 手当 (事業)	27,056,405
法定福利費 (事業)	3,910,223
【人件費】 合計	30,966,628
【その他経費】	
通信運搬費 (事業)	512,978
消耗品費 (事業)	157,292
印刷出版費 (事業)	289,687
水道光熱費 (事業)	208,754
賃借料 (事業)	335,599
地代・家賃 (事業)	738,695
支払手数料 (事業)	656,895
【売上原価】	
【その他経費】 合計	2,899,900
【事業総括】 合計	80,272,590
【管理費】	
< 人件費 >	
給料 手当	1,299,900
役員 報酬	1,200,000
法定福利費	97,058
福利厚生費	1,357,532
< 人件費 > 合計	3,954,490
< その他経費 >	
印刷製本費	16,198
会 議 費	173,117
旅費交通費	16,468
研 修 費	27,850
通信運搬費	28,684
消耗品 費	8,795
水道光熱費	11,673
地代 家賃	41,305
賃 借 料	18,765
接待交際費	25,000
保 險 料	49,020
諸 会 費	267,000
租税 公課	1,180
支払手数料	36,733
雑 費	492,855
< その他経費 > 合計	1,214,643
【管理費】 合計	5,169,133
経常費用 計	85,441,723
当期経常増減額	58,909,475
【経常外収益】	
ミャンマー未使用資金戻入益	11,593,039
【経常外費用】	
ミャンマー未使用資金繰入損	108,401,630
経常外費用 計	108,401,630
税引前当期正味財産増減額	△ 37,899,116
法人税、住民税及び事業税	81,000
当期正味財産増減額	△ 37,980,116
前期繰越正味財産額	166,490,588
次期繰越正味財産額	128,510,472

貸借対照表

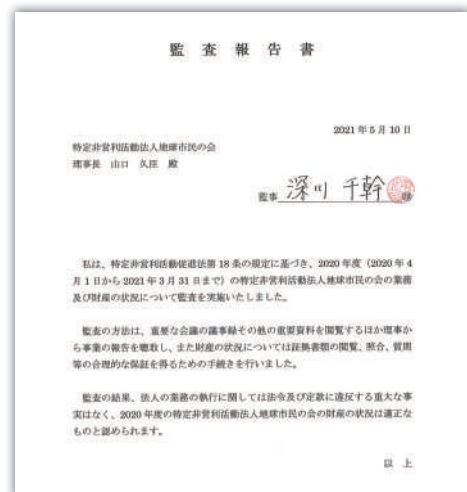
(税込) (単位: 円)
2021 年 3 月 31 日現在

《資産の部》			《負債・正味財産の部》		
科目	金額		科目	金額	
【流動資産】			【流動負債】		
(現金・預金)			未 払 金	4,857,592	16,210,753
現 金	129,337	134,658	前 受 金	624,000	824,000
普通 預金	55,150,440	132,150,690	預 り 金	297,912	439,640
現金・預金 計	55,279,777	132,285,348	仮 受 金	0	118,000
(売上債権)			流動負債 計	5,779,504	17,592,393
未 収 金	461,903	99,082	負債合計	5,779,504	17,592,393
売上債権 計	461,903	99,082			
棚卸 資産		27,403	《正味財産の部》		
棚卸資産 計		27,403	【正味財産】		
(その他流動資産)			前期繰越正味財産額	99,084,412	166,490,588
立 替 金	0	97,993	当期正味財産増減額	67,406,176	△ 37,980,116
短期貸付金	6,126,782	0	正味財産 計	166,490,588	128,510,472
ミャンマー未使用資金	108,401,630	11,593,039	正味財産の部 合計	166,490,588	128,510,472
流動資産 合計	170,270,092	144,102,865			
【固定資産】					
(投資その他の資産)					
出 資 金	2,000,000	2,000,000			
固定資産 合計	2,000,000	2,000,000			
資産合計	172,270,092	146,102,865	負債・正味財産合計	172,270,092	146,102,865

財産目録

(税込) (単位: 円)
2021 年 3 月 31 日現在

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	132,285,348	未払金	16,210,753
手許現金	134,658	前受金	824,000
普通預金	132,150,690	預り金	439,640
未収金	99,082	仮受金	118,000
棚卸資産	27,403		
立替金	97,993		
ミャンマー未使用資金	11,593,039		
流動資産合計	144,102,865	流動負債合計	17,592,393
2. 固定資産		負債合計	17,592,393
出資金	2,000,000	正味財産	128,510,472
固定資産合計	2,000,000	正味財産	128,510,472
資産合計	146,102,865	負債及び正味財産合計	146,102,865



認定 NPO 法人国際協力 NGO センターより、2015 年に ASC2012 の認証を受けました



非営利組織評価センターより、2019 年に佐賀県で初めて非営利組織の信頼性を表すグッドガバナンス認証を受けました



国連グローバル・コンパクトの原則の実践状況および国連の様々な目標の支持について、このコミュニケーション・オン・プログレスを通じて報告しています。

内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りである「国連グローバル・コンパクト (UNGC)」に署名をいたしました。



活動計画

私たちはSDGsの達成を担う地球市民のリーダーとして、誰一人取り残されない社会づくり実現のため、アフターコロナを見据えグローバル・ローカル両面の課題解決に貢献するべく、国内事業及び、海外事業の強化および事業連携を進めていきます。

- ・ミャンマー政変下における事業の再考および人道支援を含めた事業展開を実施します。
- ・これまでの会の国内外のノウハウを融合し、人と人が繋がり、課題解決ができる人材育成のための拠点づくり事業の企画を行っていきます。

国内事業

子どもの居場所づくり
国際交流事業
-SDGs Academy SAGA
SDGs 推進事業
-SDGs 中小企業経営支援プログラム
-SDGs リベラルアーツ
外国人応援事業
-志学生プロジェクト（介護留学事業）
-外国人グループ設立支援
地球市民運動拡大キャンペーン
災害支援事業



奨学金事業

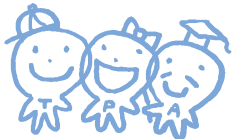
ミャンマー
-タンボジ
-シヤン奨学金
スリランカ
-シショダヤ奨学金

SCHOLARSHIP

ミャンマー事業

循環型農畜産業支援
-循環型農業普及と農業環境整備
による生活改善事業
(シヤン・チン)
-スピルリナを活用した栄養改善事業
(チン)
-開発研修センター運営
(シヤン・チン)
地域開発支援
-給水設備整備及び衛生研修(チン)

教育支援
-エタヤ準中学校建設(チン)
-タンボジ寮運営(シヤン)
環境保全
-森林保全とコーヒー栽培事業
(チン)
-インレー湖環境保全事業(シヤン)
-マインピン地域緑化体制構築事業
(シヤン)
-循環型社会形成事業(シヤン)



2021年度もご支援よろしくお願いいたします。

令和3年度（2021年度）活動予算書

2021年4月1日～2022年3月31日

(千円)

	国内事業	奨学金事業	ミャンマー事業	管理部門	2021年度予算計
I 経常収益					
①受取会費	0	0	0	3,000	3,000
②受取寄付金	20,510	3,520	700	500	25,230
③受取助成金等	645	0	8,349	0	8,994
④事業収益	6,449	0	200	0	6,649
⑤その他収益	0	0	0	40	40
経常収益計	27,604	3,520	9,249	3,540	43,913
II 経常費用					
①事業費合計	52,189	7,036	112,934	0	172,159
人件費	8,808	1,368	17,789	0	27,965
その他経費	43,381	5,668	95,145	0	144,194
②管理費合計	0	0	0	10,548	10,548
人件費	0	0	0	7,485	7,485
その他経費	0	0	0	3,063	3,063
経常費用計	52,189	7,036	112,934	10,548	182,707
当期経常増減額	▲ 24,585	▲ 3,516	▲ 103,685	▲ 7,008	▲ 138,794
前期繰越正味財産額	24,585	3,516	103,685	7,008	138,794
次期繰越正味財産額	0	0	0	0	0

私たちについて

ミッション

世界各国・日本・地域において、他の人の幸せを自分の幸せとして感じられる人、つまり、「地球市民」として、今の幸せを感じながら生活している社会を創ること

団体概要

名 称 特定非営利活動法人（認定 NPO 法人） 地球市民の会
設 立 1983 年 7 月（2002 年に法人取得、2010 年に認定 NPO 法人となる）

活動対象国

日本国内、ミャンマー、タイ、スリランカ、中国、韓国

主な褒章

サントリー地域文化賞(1988年)／国際交流基金地域交流振興賞(1989年)／佐賀県県政功労者知事賞(1994年)／自治大臣表彰(1996年)／厚生大臣感謝状(1996年)／外務大臣表彰(2000年)／にしぎんアジア貢献賞(2003年)／地球倫理推進賞(2006年)／文部科学大臣奨励賞(2006年)／かめのり賞(2017年)／社会貢献支援財団賞(2017年)



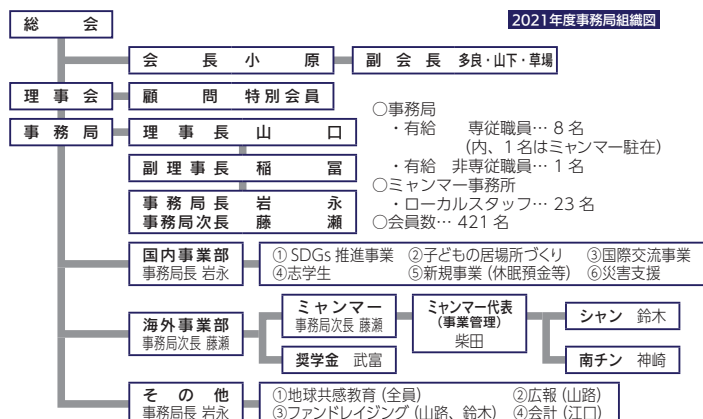
理事会の様子

世界のネットワーク

北海道地球市民の会／地球市民の会東京／地球市民ACTかながわ／地球市民の会きふ／地球市民みえの会／神戸有頂天倶楽部／愛媛地球市民の会／北九州地球市民の会／地球市民の会福岡／（一社）アイ・オー・イー／（一社）和スポーツさが／（一社）ユニバーサル人材開発研究所／（同）葉隠／（社）釜山韓日文化交流協会／グリーンヒル

地球市民の会 37 年の歴史

1973 年 「佐賀フランス研究会」設立（地球市民の会の前身）
1980 年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
1983 年 「地球市民の会」設立
1986 年 第 1 回小さな地球計画開始
1987 年 日タイ協力事業開始
1988 年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
1990 年 地球市民奨学金開始
1992 年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
1993 年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
1995 年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
2002 年 NPO 法人格取得
2003 年 ミャンマープロジェクト開始
2008 年 創始者 古賀武夫 逝去
2009 年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
2009 年 佐賀市中山間地域づくり事業開始
2010 年 国税庁より認定 NPO として認定
2011 年 ASC2008 認証
2011 年 東日本大震災復興支援事業開始
2013 年 創立 30 周年記念・北澤氏講演会
2015 年 ASC2012 認証
2016 年 平成 28 年熊本地震支援事業開始
2017 年 非営利組織評価認証
2017 年 タイ地球市民奨学金終了
2018 年 地球を翔た異風者 古賀武夫伝 出版
2019 年 グッドガバナンス認証



役員

永久名誉会長 古賀 武夫

名誉会長	山口 祥義	佐賀県知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市長
顧問	井戸 敏三	兵庫県知事
顧問	稲田 繁生	
顧問	今村 雅弘	衆議院議員
顧問	大串 博志	衆議院議員
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘会長
顧問	小山 高生	脚本家
顧問	坂井 学	衆議院議員
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯社長
顧問	三遊亭園歌	落語家
顧問	上甲 晃	志ネットワーク代表
顧問	中尾清一郎	(株)佐賀新聞社代表取締役社長
顧問	古川 康	衆議院議員
顧問	原口 一博	衆議院議員
顧問	平湯 慎介	平湯コーポレーション代表取締役社長
顧問	福岡 資麿	参議院議員
顧問	リクルース	有限会社 エムキューブインターナショナル
顧問	牟田 清敬	牟田法律事務所弁護士
顧問	山下 雄平	参議院議員
顧問	井崎 和也	佐賀県地域交流部国際課課長
特別会員	青柳 達也	佐賀女子短期大学
特別会員	有岡 大介	(株)ライフプロ 代表取締役社長
特別会員	鶴丹谷清和	TU マネジメント株式会社代表取締役
特別会員	古賀 大之	一般社団法人和スポーツクラブさが理事長
特別会員	小松 敏正	小松商店 金属部代表
特別会員	佐藤 昭二	一般社団法人ふる里再生協会専務理事
特別会員	副島 正幸	潮音寺住職
特別会員	田島 広一	田島興産株式会社代表取締役
特別会員	平野 幸喜	NPO 法人れんげ国際ボランティア会ミャンマープロジェクトディレクター
特別会員	藤 雅仁	株式会社七浦ノ道の駅鹿島統括部長／事務局長
特別会員	前田 英彦	
特別会員	満岡 聡	満岡内科消化器科医院院長
特別会員	峰 悦男	峰公認会計士事務所代表
特別会員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター代表取締役社長
会長	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)代表取締役社長
副会長	多良 淳二	一般社団法人佐賀銀行文化財団 事務局長
副会長	山下 雄司	(株)サガプリンティング 専務取締役
副会長	草場 一壽	今心工房 陶彩画家
理事長	山口 久臣	一般社団法人アイ・オー・イー代表理事
副理事長	稲富 正人	佐賀西部広域水道企業団企業長
理事	泉 万里江	佐賀女子短期大学 コーディネーター
理事	柴田 京子	認定 NPO 法人地球市民の会 ミャンマー代表
理事(兼任)	多良 淳二	一般財団法人 佐賀銀行文化財団事務局長
理事	田中 啓之	佐賀県 県民環境部循環型社会推進課 主任主査
理事	鶴田さゆり	佐賀県地域交流部空港課 主査
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗代表
理事	成尾 雅貴	株式会社あえる
理事	西村 一守	Produce Office Nishimura PON 代表
理事	西村 尚子	ステンドグラス工房 グラスパレット主宰
理事	藤戸小百合	特定非営利活動法人 佐賀中部障がい者ふくしネット コーディネーター
理事	古川久美子	一般社団法人 文化・芸術の泉 アール・フォンテス 代表理事
理事	増田 誠司	(株)増屋 代表取締役
理事	松尾 大輔	(株)松尾クリエイション 代表取締役専務
理事	百生詩緒子	アイシーネット株式会社シニアコンサルタント
理事(兼任)	山下 雄司	(株)サガプリンティング 専務取締役
監事	深川 千幹	佐賀市立川副中学校 校長
監事	堤 素行	堤素行税理士事務所



寄付で応援



地球市民の会の活動を支える

地球市民サポーター 月々 1,000 円～

「世界中の人がお互いに支え合い、世界中の人の幸せを願える社会を作る」
地球市民の会の活動を支援します。



ミャンマー・スリランカのこどもの教育を支援する

さとごとと交流しながら支援したい方は

地球市民奨学金 月々 1,000 円～

ミャンマー、スリランカの2か国で、経済的に困難を抱える高校生の教育支援を行っています。
支援者を「さとおや」、支援する子どもを「さとご」と呼び、交流を行いながら奨学金支援をします。

- ☞ ミャンマー・シャン奨学金【3年間】 月 2,000 円 （さとごとさとおや一対一の支援です）
- ☞ ミャンマー・タンボジ奨学金【3年間】 月 1,000 円～（10口で一人を支える仕組みです）
- ☞ ミャンマー・シショダヤ奨学金【4年間】 月 1,000 円 （さとごとさとおや一対一の支援です）

子どもの手紙は不要！ 支援の気持ちを届けるだけでいいという方は

奨学金サポーター 月々 1,000 円～

支援するのは奨学金同様、ミャンマーやスリランカの子どもです。支援期間に区切りはありません。
奨学金としての支給や教育環境の整備等に活用させていただきます。



<佐賀県>ふるさと納税

佐賀県へのふるさと納税を通して、NPO 支援ができます。

※佐賀県内在住の方について、ご寄附は可能ですが、総務省からの通知により返礼品などをお送り
できませんの予めご了承ください。



物の寄付で応援

ブランド品（洋服やバックなど）
→ **BRAND PLEDGE**

査定申込をし、取り寄せた段ボールに
詰めて発送すると、BRAND PLEDGE
を通じて買取額が寄付されます。

貴金属やカメラなど
→ **お宝エイド**

段ボールに詰めて、着払いにて発送。
査定額に 10% を上乗せした額が寄付
されます。

未使用切手、古切手、
書き損じはがき→ **地球市民の会**

直接、事務局までお送りください。

〒 840-0822

佐賀県佐賀市高木町 3-10
地球市民の会 宛

ボランティア・インターンとして参加する

随時募集しております。興味のある方は、事務局までお問合せください。

ご支援のお申込・問合せ：認定 NPO 法人 地球市民の会

0952-24-3334 office@terrapeople.or.jp http://www.terrapeople.or.jp/



TERRA PEOPLE ASSOCIATION

認定NPO法人 地球市民の会

〒 840-0822 佐賀県佐賀市高木町 3-10

※業務時間 / 土・日・祝を除く 9:00 ~ 17:30

TEL : 0952-24-3334 / FAX : 0952-26-4922

E-mail : office@terrapeople.or.jp

Website : <http://terrapeople.or.jp/>



地球市民の会



@tpasaga



terrapeopleassociation